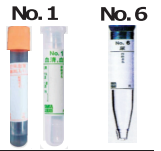


生化学的検査



アイソザイム

コード	検査項目 JLAC10コード	検体量(mL)	容器 (No.)	保存	所要 日数	実施料 判断区分	検査方法	基準値	備考	異常を示す主な疾患
2077	ALPアイソザイム 3B080-0000-023-233	血清 0.3	1	冷蔵	3~5	48 生化I	アガロース膜 電気泳動法	ALP ₁ 0 ALP ₂ 36~74 ALP ₃ 25~59 ALP ₄ 0 ALP ₅ 0~16 ALP ₆ 0 %		【高値】 [ALP-1] 肝胆道系疾患 [ALP-2] 肝胆道系疾患 [ALP-3] 骨疾患 [ALP-4] 妊娠、悪性腫瘍 [ALP-5] 肝炎、肝硬変、腎不全 [ALP-6] 潰瘍性大腸炎
2300	BAP (骨型アルカリホスファターゼ) 3B072-0000-023-052	血清 0.8	1	冷蔵	3~5	** 161 生化II	CLEIA	男 3.7~20.9 女 閉経前 2.9~14.5 閉経後 3.8~22.6 μg/L		【高値】 骨Paget病・骨転移 甲状腺機能亢進症 【低値】 腎性骨異常・骨粗鬆症 骨形成不全症
2076	LDアイソザイム 3B055-0000-023-233	血清 0.3	1	冷蔵	3~5	48 生化I	アガロース膜 電気泳動法	LD ₁ 20~32 LD ₂ 28~35 LD ₃ 21~27 LD ₄ 6~13 LD ₅ 4~14 %	溶血検体では 検査実施できません。	【異常】 LDH1: 心筋梗塞・溶血性貧血・悪性貧血 LDH2: 骨髄性白血病・リンパ性白血病 悪性リンパ腫・筋ジストロフィー症 LDH3: 肺梗塞・リンパ性白血病・悪性腫瘍 LDH4:悪性腫瘍の肺・肝転移 LDH5:急性肝炎・原発性肝癌・脂肪肝
2215	アミラーゼアイソザイム隣型 (アミラーゼアイソザイム) 3B175-0000-023-271	血清 0.3	1	冷蔵	1~3	48 生化I	免疫阻害法	16~52 U/L		【高値】 急性膵炎・慢性膵炎再燃時 急性耳下腺炎・肝・胆道疾患 卵巣癌・肺癌・新生児 マクロアミラーゼ血症
2078	アミラーゼ アイソザイム 3B165-0000-023-233 3B165-0000-001-233	血清 0.3	1	冷蔵	3~5	48 生化I	アガロース膜 電気泳動法	TOTAL-P 15.7~64.0 TOTAL-S 36.0~84.3 %		【P型の増加】 膵炎・膵癌・膵管閉塞 消化器潰瘍穿孔 膵管腫瘍・膵血管炎 【S型の増加】 ムンプス感染症 唾液腺導管閉塞 放射線治療・肺癌・卵巣癌
2087		尿 0.5	6	冷蔵	3~5	48 生化I		TOTAL-P 38.7~82.3 TOTAL-S 17.7~61.3 %		
2092	CK-MB (CLIA) 3B015-0000-023-051	血清 0.5	1	冷蔵	2~3	90 生化I	CLIA	7.0以下 ng/mL		【高値】 心筋梗塞・心筋炎 【低値】 長期臥床 甲状腺機能亢進症
8015	CK-MB (CKアイソザイム) 3B015-0000-023-272	血清 0.5	1	冷蔵	1~3	55 生化I	免疫阻害法	25以下 U/L		【高値】 心筋梗塞・心筋炎 【低値】 長期臥床 甲状腺機能亢進症
2088	CKアイソザイム 3B025-0000-023-233	血清 0.5	1	凍結	3~5	55 生化I	アガロース膜 電気泳動法	MM 87.0~98.0 MB 6.0以下 BB 2.0以下 %		【高値】 CK-MB:心筋梗塞・心筋炎 CK-MM: 心筋梗塞・心筋炎 筋肉疾患・甲状腺機能低下症 運動負荷後 CK-BB: 中枢神経疾患 【低値】 長期臥床・SLE・妊娠 甲状腺機能亢進症
9238	m-AST (ミトコンドリアAST) (ASTアイソザイム) 3B036-0000-023-272	血清 0.5	1	冷蔵	3~5	49 生化I	プロテアーゼ法	7以下 U/L		【高値】 肝炎・劇症肝炎 急性肝炎・心筋梗塞

** 内分泌学的検査の包括 1回に採取した血液を用いて3項目以上の検査を行った場合
3~5項目: 410点 6・7項目: 623点 8項目以上: 900点

※ALPアイソザイムと骨型アルカリホスファターゼ(BAP)を併せて実施した場合は、主たるもののみ算定する。